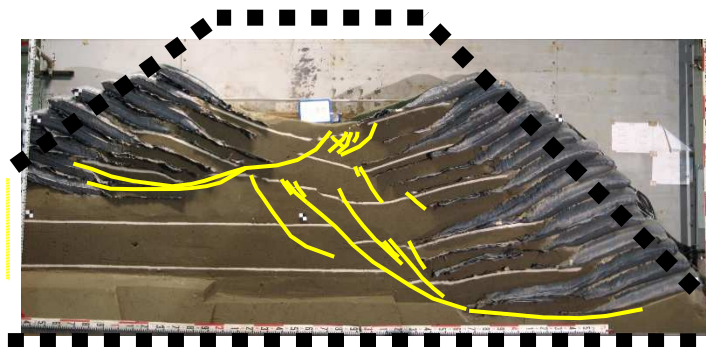


## Q. どんな研究をしているの？

- A. 農業用水を蓄えるため池、ダムやそれを農地まで配るための水路、パイプラインの自然災害に対する安全性を、**現地調査**、**模型実験**とコンピュータを使った**数値解析**により研究しています。具体的には...

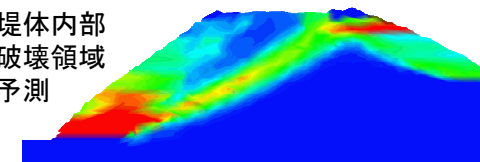


- 地震によって決壊したため池

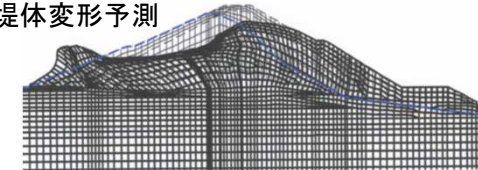


- 大型土嚢を用いた地震に強いため池堤体の大型震動実験

○堤体内部の破壊領域の予測



○堤体変形予測



- コンピュータシミュレーションによる安全性の予測

## Q. 研究のキーワードは？

- A. 自然災害は地盤災害、想定外に備える、模型実験、コンピュータシミュレーション、現地調査

教員からのメッセージ： 農村地域は食糧生産の場だけでなく、環境や景観、国土保全でも大きな役割を担っています。近年、集中豪雨、洪水や大規模地震などの自然災害が頻発していますが、農村地域の**ため池、パイプラインなどの施設の安全性を向上する革新技術の開発研究を進めます**。研究を通じて実際の現場で起こっていることをしっかりと見て、問題の本質を見抜き、農村地域に貢献する「**技術を実践できるプロフェッショナル**」を育成します。